

## 宮崎県損害保険防犯対策協議会総会を開催

～宮崎県警の不正請求事案立件に感謝しつつ、改めて情報連携の重要性を確認～

日本損害保険協会九州支部宮崎損保会（会長：米本 真也・損害保険ジャパン株式会社宮崎支店長）では、2月1日（水）に宮崎市内において第37回宮崎県損害保険防犯対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など23名の出席がありました。

開会にあたり、宮崎県損害保険防犯対策協議会の 米本 会長（協議会会長は宮崎損保会会長が兼務）より、日頃からの関係各位の連携・協力や献身的な活動に謝辞を伝えるとともに「損害保険事業の健全な発展のためには、関係機関のご支援と会員各社の一層の連携強化が不可欠であり、当協議会の活動を活発化させ、損害保険事業の根幹を揺るがす、あらゆる暴力の排除や不当・不正請求事案の防止に毅然とした対応をしたい。」との挨拶がありました。

顧問を代表して宮崎県警察本部交通部交通指導課の 垂水 課長（警視）より、「交通事故・死者数が大幅に減少する一方、交通事故被害者救済の制度を悪用し保険金を搾取する等の犯罪が後を絶たない状況。一般市民等が加担する潜在性の高い犯罪を危惧している。これらを防止するには皆様方との緊密な連携が必要不可欠です。今後ともご支援ご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

講演において宮崎県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 坂元 暴力団対策官（警視）より「全国的に暴力団構成員はかなり減少しているが、看板や代紋を外すなど意図的に組織を隠すため、実態が不透明・潜在化してきている。資金確保のため『特殊詐欺や公的な助成金等の詐欺』、『スカウトと称した有害業務への職業あっせん』など活動が多様化している。また最近の特徴として暴力団の庇護のもと活動する半グレの収益が新たな資金源になっている。皆様からの些細な情報も看過せずに徹底した取り締まり強化しているので、今後とも情報連携願いたい。」との発言がありました。

また、宮崎県警察本部 交通部交通指導課 内立 特捜補佐（警部）から「交通事故に関わる保険金詐欺事件について、宮崎県では昨年、合計11件の保険金詐欺の検挙があり、暴対法が厳しくなり、暴力団関係者が危険を冒して保険金詐欺を行っている可能性が考えられる。また、一般の主婦や学生も軽い気持ちで保険金詐欺をする事件も起こっている。変だと感じることがあれば、警察へ遠慮なく相談してください。引き続き情報提供・捜査協力をお願いしたい。」との要請がありました。

その後、損害保険事業の社会公共性に鑑み、損害保険に関する犯罪の予防と排除に努め、事業の健全な発展を図るための決議文を全員一致で採択し、その意思を確固たるものにしました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1981年に設置されています。総会の概要は次の通りです。

### 第37回 宮崎県損害保険防犯対策協議会総会 式次第

1. 開会挨拶 宮崎県損害保険防犯対策協議会 会長 米本 真也（宮崎損保会会長・損害保険ジャパン）
2. 来賓・顧問紹介
3. 来賓の御挨拶 財務省 九州財務局 宮崎財務事務所 理財課長 松久保 亮 様  
宮崎県弁護士会 民事介入暴力対策委員会委員長 弁護士 竹村 圭介 様  
公益財団法人 宮崎県暴力追放センター専務理事 宮崎 俊昭 様
4. 顧問代表の御挨拶 宮崎県警察本部 交通部 交通指導課 課長 警視 垂水 保樹 様
5. 議事 (1) 活動報告  
(2) 「宮崎県損害保険防犯対策協議会」会則の件

- (3) 「宮崎県損害保険防犯対策協議会」指定者名簿の件
6. 講演 (1) 「最近の暴力団情勢について」  
宮崎県警察本部 刑事部組織犯罪対策課 暴力団対策官 警視 坂元 隆志 様
- (2) 「交通事故に関わる保険金詐欺事件について」  
宮崎県警察本部 交通部交通指導課 特捜補佐 警部 内立 三郎 様
7. 決議文の採択
8. 閉会

(注) 「宮崎損保会」および「宮崎損害サービス分科会」は、当支部の組織です。

以 上



米本会長の開会挨拶



松久保理財課長の来賓挨拶



竹村委員長の来賓挨拶



宮崎専務理事の来賓挨拶



挨拶をされる垂水交通指導課長



司会・動報告を行う水島代表幹事



坂元暴力団対策官のご講演



内立特捜補佐のご講演



決議文を読み上げる岡本次期代表幹事